

じっくり心をこめて

スロー フード

143



大根と人参の皮のきんぴら

皮も無駄なく使えるエコレシピです。シャキシャキとした触感が癖になる1品です。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材 料 (4人分)

- ・大根の皮 150g ・人参の皮 150g
- ・ごま油 大さじ1 ・しょうゆ 大さじ1
- ・砂糖 大さじ1 ・七味唐辛子 少々 ・黒ごま 少々

作り方

- ① 大根の皮と人参の皮は縦にせん切りにする。
- ② 鍋にごま油を熱し、①を入れて炒める。油が回ったらしょうゆ、砂糖を加えて汁気がなくなるまで炒める。
- ③ 器に盛り七味唐辛子と黒ごまを振る。

せきかわ文芸

俳句・山柳

俳句

川面から昇る寒ざり 月氷る
 初日の出 拝めぬ時わ うんまかせ
 集落が かすんで見える 雪すだれ

大塚 沖正 (下川口)

初時雨 去りて 天空 西に富士

朝の日に ものの芽みん な 躍りでる

初午や 稲荷の峰や 春浅し

春暁や 日ざしに 青き 菜のひかり

横山 一正 (東京都)

短歌

団子撒き和尚の音頭ではじまった

やれもせやれもせ百万遍

佐藤 庄七

(愛広苑)

正月の部屋に六歳と十歳は

茶を点て初春を寿ぎにけり

渡辺千恵子

(上関)

関川俳句の会作品

ストーブに手をかざし見る年を見る

渡辺しづい

冬ざれや病む手に重き広辞苑

渡辺しづい



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

総勢150人で
関川村に

帰ってまいります!

今月、関川村で行われる3つのお祭りのお手伝いをさせていただきます。今年行う企画はまだお楽しみですが、昨年度の活動をここで紹介させていただきます☆

1、七ヶ谷雪ほたるまつり

おまつりの運営のお手伝いの他、子どもたちを対象にした雪製のスイカ割り、村の学生とIVUSA学生の座談会などを行いました。

2、えちごせきかわ雪まつり

昨年初めての開催だったこのおまつり。主要イベントであるスノーフラッグ選手権に仮装して参加させていただきました!おまつりの翌日には関川小学校で

の防災授業や高齢者施設でレクリエーションも行いました。

3、大石どもんこまつり

おまつりの中でバレンタイン企画や宝探し企画を行ったり、交流会を開催し村の方とじっくりお話しできる場を設けさせていただきました。

事前勉強会

3つの活動で知識や意識を共有するため、東西それぞれで勉強会を行いました。関川村とIVUSAのこれまでのかかわりや活動の軌跡をおさらいできたのはもちろん、卒業生の方々からお話を伺うこともでき、各々期待とやる気がより高まっていったように見えました。



リーダーから一言

今回3つの活動を束ねるのは、学生みんなのお母さん(のような存在)のこの人です!



「今回、リーダーをさせていただいてあります法政大学4年の畑田茉衣と申します。私は関川村での活動で多くのことを学び、経験しました。関川村は私にとって大切な場所です。いつも温かく迎えてくださる村の方々に少しでも笑顔と元氣をお届けできるよう、学生延べ150人で精一杯頑張ります!!」

学生一同、関川村の方々にお会いできるのをとても楽しみにしております!様々な企画をもって伺いますので、ぜひおまつりにご参加ください。

せきかわ文芸

せきかわ山柳会作品「年の瀬」

冬將軍来たかと体ひきしめる	平田	千恵	生きて居るあかし雑煮も無事に食む	渡辺しづい
元氣ですね声掛けられる歳になり	平田	千恵	晴れひと日得した気分の年用意	伊藤 久恵
吹雪く日は殊更北の子を思う	平田	千恵	早ばやと予定書き込む初暦	伊藤 久恵
雪降らず帰省の子等も見当たらず	南	セツ	初詣振舞酒にほんのりと	伊藤 久恵
二年参り雪なく靴音にぎやかに	南	セツ	新年の新聞チラシの多きかな	青木 慶一
歳用意しながら聞いている歌合戦	南	セツ	初貯金カイクの景品まじりたる	青木 慶一
九十の声を聞いても人事に	南	セツ	地蔵様冬支度して冬帽子	青木 慶一
新年に富士山眺め手を合わせ	本間	イミ	雪が来てストーブのまわり人が寄り	南 セツ
病んでみて親身の介護に涙する	本間	イミ	用意したお年玉袋そのままに	南 セツ
振り返り日々の暮しに憂いなし	本間	イミ	ドンドヤキ去年の厄を焼き払い	南 セツ